

市ジオパーク基本構想の策定に向けて

バスツアーでジオサイトを満喫

12月5日(土)、那須烏山市ジオパーク基本構想事業の一環として「ジオサイトバスツアー」を開きました。当日は、市ジオパーク基本構想等検討委員会委員長の青島睦治さんを講師として、地元の中学生や宇都宮大学の学生を含め、市内外から23人が参加しました。

ジオサイトとは、自然や歴史、文化などの見所となる場所やエリアのことで、このツアーは、昨年引き続き今年で2回目となります。

まず、市役所南那須庁舎を出

発した一行は、高瀬のオオガネクジラ発見地の崖や河原の石を観察。貝の化石などがいくつも見つかり、参加者からは驚きの声が上がりました。その後は、森田の猿久保田んぼ公園で見られる谷津地形や岩子付近で見られる荒川の蛇行、十二口横穴など5ヶ所のジオサイトを巡りました。

昨年も参加したという小窪晟弥さん(南那須中2年)は、「個人では、行けないようなところも説明をしながら案内してくれるので巡るのには良い機会」と話していました。



上:採取した化石を解説する青島さん(右)。
下:谷津地形の観察をする参加者。

恒例! シルバーの門松作り

心をこめて100対を制作

12月16日(水)、シルバー人材センターでは、恒例の門松作りが最盛期を迎えました。

今年は、7人のシルバー会員が11月20日(金)から竹や松の切り出し作業を開始。およそ1ヶ月かけて200本あまりの竹を切り、100対を超える門松を作り上げました。

同センターの会員による門松作りは、20年以上の実績があり、完成品は、プロ顔負けの出来栄え。県外からも注文があるほどの人気ぶりです。

また、この門松は、毎年、市役所烏山・南那須庁舎などにも寄贈され、新春に華を添えています。

代表の高野英知さん(下川井)は、「この門松を見て新しい年を迎える喜びをみなさんに感じてほしい」と笑顔で話していました。



心を込めて門松を作る会員のみなさん。

年末の防犯・防火診断

施錠の徹底呼びかける

市防犯協会と那須烏山警察署による「防犯・防火診断」が、12月15日(火)、烏山・南那須地区の市街地を中心に行われました。

これは、年末の防犯や防火対策の一環として毎年この時期に行われているものです。

当日は、警察や消防団のほか、自治会、市職員など約100人が参加。午後7時30分から約1時間にわたり市街地を巡回し、建物や車の施錠徹底などを確認しながら市民に呼びかけました。



施錠を確認する大谷市長と宇賀持警察署長。

栃木県消費生活リーダー 連絡協議会烏山支部 啓発チラシを配布

栃木県消費生活リーダー連絡協議会烏山支部（萩原宣子代表）は、12月7日（月）市内のスーパーマーケット3店舗で啓発チラシ

の配布を行いました。
これは、年末に増える悪質な詐欺などから地域住民を守るために、毎年この時期に行われているものです。

当日は、16人の会員により、振り込め詐欺や悪徳商法に関する啓発チラシ、カットパンなど約300組を買い物客に配布し、未然防止に取り組みました。

同連絡協議会烏山支部では、こういった悪質な詐欺などの啓発活動のほか、寸劇とおして認知症患者への対応方法などを地域住民に周知する活動も行っています。



啓発チラシを配布するメンバーたち。

市営バス市塙黒田烏山線 バスがリニューアル

市営バス「市塙黒田烏山線」の車両が、12月11日（金）から新しくなりました。「市塙黒田烏山線」は、平成8年に本市と茂木町・市貝町を結ぶ路線として運行を開始してから20年を迎え、車両が古くなったため新車両で運行することになりました。
なお、運行路線、運行時間は変更ありません。



新しくなった市営バス「市塙黒田烏山線」。

アイスランド大使が表敬訪問



大谷市長とハンネス・ハイミソン駐日アイスランド大使（写真前列中央）。

11月21日（土）から22日（日）にかけて、ハンネス・ハイミソン駐日アイスランド大使夫妻と日本アイスランド協会のメンバーが本市を訪れ、大谷範雄市長を表敬訪問しました。期間中には、南大和久のアイスランド平和迎賓館への訪問、和紙の里での和紙すき体験、国見でのみかん狩りを楽しみました。また、大谷市長を交えた夕食会では、八溝のそばを囲みながら交流を深めました。

那須烏山市婦人会 創立10周年を迎えて

那須烏山市婦人会（柳田京子会長）では、同会の創立10周年を記念してNPO法人野うさぎクラブ

秋の食育イベントを開催

ブとの協力により、11月28日（土）子ども館で「秋の食育イベント」を開き、放課後児童クラブの子



北田さんによる絵本の読み聞かせ。



親子で調理実習に挑戦。

どもたちや家族連れ70人が食の大切さを学びました。
当日は、今年3月に文部科学大臣から「早寝・早起き・朝ごはん運動」の表彰を受けた七合小学校の川原良明校長による「食が及ぼす驚き効果」の講話や烏山図書館ボランティア「たんぼぼ」の北田ミイさんによる「食育に関する絵本の読み聞かせ」、地域住民による「ミニ演奏会」が行われました。昼食には、調理実習が行われ、親子でフレンチトーストやお焼き作りを楽しみました。

思い出の校舎に 感謝を込めて 江川小で「校舎移転の会」

老朽化などの問題で来年4月から旧下江川中学校の校舎に移転する江川小学校では、12月7日(月)、同小体育館で「校舎移転の会」を開き、児童や保護者、地域住民など約250人が思い出の校舎に感謝の気持ちを伝えました。

これは、同小学校に関わった人たちに感謝の気持ちを込めて、PTAが中心となって開かれたもの。式典では、小林暢子校長が、「37年の歴史をもつ江川小学校は現在までに、多くの卒業生を送り出して

いる。移転しても今と変わらず、勉強や運動に励んでほしい」とあいさつしました。その後、児童や保護者、教師が校舎に別れを告げる「呼びかけ」が行われ、体育館には同小に対してのお礼の言葉などが述べられました。

続くアトラクションでは、お笑いステージや思い出の写真スライドショーの上映、金管バンドの演奏など盛りだくさんの催しが繰り広げられ、現校舎での思い出をまた一つ作りました。

校舎に別れを告げる呼びかけをする児童たち。



校舎に別れを告げる
呼びかけをする児童たち。

鹿沼市で野球チーム「烏山クラブ」

災害ボランティアで水田の土砂除きに貢献

那須烏山市児童野球チーム「烏山クラブ(大和勝夫代表)」の児童や保護者など35人が、9月の関東・東北豪雨で水害の被害にあった鹿沼市板荷地区で山から水田に流れた土砂を除くボランティア活動を行いました。

鹿沼市では、11月30日(月)にボランティアセンターを閉鎖しましたが、農地や家屋の土砂・泥出しなどの支援が必要な場所がまだ多く残っています。同クラブでは、少しでもお手伝いできればと「かぬ

ま市民活動広場ふらっと」の要請を受けて活動を行いました。

鹿沼市社会福祉協議会によると、今回の災害でボランティア活動に小学生が参加した例は初めてだといえます。活動後きれいになった水田を見て烏山小4年の小倉萌生さんは、「土の山がいっぱいあってびっくりした。私たちだけでできる心配だったけど、みんなで力を合わせてやれて楽しかった。被災した人が喜んでくれてすごく嬉しかった」と話していました。



水田の土砂除きをする児童。



上:盛り上がりみせたコンサート。
下:竹の器で地域の味覚を味わう。

田んぼの学校「志鳥倶楽部」 2015収穫感謝祭

12月5日(日)、志鳥倶楽部(滝口清栄会長)では、志鳥上公民館で「2015収穫感謝祭」を開きました。

当日は、市内外から約40人が参加。図書館出前講座の「絵本のお話し会」や、那珂川町の歌声サークル「オリオリ」によるクリスマスメドレーなどのコンサートが行われ、また、栃木県昆虫愛好会会長の高橋滋さんによる標本を使った珍しい昆虫の生態解説や、市内で

発見された化石の展示、野鳥や里山の生き物の写真展示が行われ、初めて見る生き物や虫、化石に子どもたちは目を丸くしていました。昼時を迎えると、今年度の田んぼの学校で子どもたちが田植え体験した古代米のごはんや、地元有機野菜を使った豚汁、漬物などが振る舞われ、参加者たちは会員が手作りした竹の器で地域の味覚を存分に堪能しました。

学校給食で地産地消

おいしい「とちぎ和牛」に笑み

白壁会空手道スポーツ少年団

五十嵐選手・大輪選手 関東大会で大活躍



大輪選手(左)と五十嵐選手(右)。

白壁会空手道スポーツ少年団に所属する、大桶の五十嵐大夢選手(七合小1年)と下境の大輪莉央選手(境小学校2年)が、11月に行われた大会において優秀な成績をおさめました。

22日(日)に佐野市で行われた第4回「関東地区少年空手道選手権大会」では、五十嵐選手は小学1年生男子組手で優勝、大輪選手は小学1・2年生女子組手で第3位と大

健闘しました。また、15日(日)に宇都宮市で開かれた第34回「関東・甲信越国際剛柔道会空手道選手権大会」では、五十嵐選手が小学1年生男子組手で優勝、大輪選手が小学1・2年生女子組手で第3位の成績でした。

両選手とも、「日頃の練習の成果が出た」と話す一方で、「目指すは全国大会出場」と今後の抱負を語っていました。

すくすく保育園の園児が

国見の山でみかん狩り

すくすく保育園の年長組の園児19人が、11月24日(火)、国見山みかん園で、みかん狩りを体験しました。

まず、同みかん園の小森義男さんに、みかんのもぎ取り方を教わった園児たち。最初は慣れない手つきでしたが、小さな手で一生懸命にみかんをもぎ取っていました。

途中には、みかんの試食も行い、国見のみかんの特徴でもある甘酸っぱさを堪能しました。



みかん狩りを楽しむ園児たち。

シリーズ 市の文化財 第57回



市指定有形文化財 商売繁盛図

作者は牧野牧陵で、明治14年(1881)頃の作品です。上面には縁起の良い七福神、下面には酒・味噌・醤油の醸造店「菊泉」の活気溢れる店先の様子が描かれており、人々の商売繁盛を願う気持ちが伝わってきます。

牧陵の画風は池大雅の影響も見られ、身近な郷土の人々や伝統行事に着目して、構図や描線・着色などで独創的な南画を描きました。この絵もその1つで、七福神の鮮やかな色調と店先の淡い色調との対比が、独特な世界観を醸し出しています。

(参考文献:那須烏山市の文化財)

11月30日(月)、市内の全小・中学校の給食で、県内の指定農家が育てる和牛ブランド」と



大谷市長と給食を囲む児童。

ちぎ和牛」を使用したハッシュドビーフが献立として出されました。

この献立は、地産地消や食育の推進、地元食材のPRなどを目的として毎年行われているもの。和牛を口にした子どもたちからは、おいしさのあまり笑みがこぼれていました。また、本市で収穫された「中山かぼちゃ」で作られたプリンも好評でした。

烏山小学校2年の齋藤虎太郎さんは、「肉が柔らかくておいしかった。また給食に出るのが楽しみ」と話していました。

「嬉しいですよ」と話す伊藤さん親子。



親と子のよい歯のコンクール 伊藤真由美さん・穂純さん 県審査で優良賞を受賞



準備万端(七合保育園発表会より)。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当
☎0287-83-1112

田野倉の伊藤真由美さん(母)と穂純さん(娘)親子が、平成27年度「親と子のよい歯のコンクール」の第3次審査で優良賞を受賞しました。

このコンクールは、歯と口の健康状態がよい親子や子を表彰することで、むし歯の予防など正しい知識を普及啓発しようと全国的に毎年開かれているものです。

本市が誕生してからは、市が行う第1次審査、県北地区で行う第2次審査、そして、県が行う第3次審査まで進んだという事例は初めてだといえます。

受賞を受けて穂純さんは、「歯磨きが大好き。これからも頑張りたい」と話す一方で、真由美さんは、「小さいうちは、うまく磨けない場所もあるので仕上げ磨きをするなど、親子で虫歯にならないように気をつけていきたい」と話していました。

100組が演目披露 歳末たすけあいチャリティーショー

烏山地区民俗文化奉仕協会(川俣伸会長)では、11月29日(日)、烏山公民館で「第38回歳末たすけあいチャリティーショー」を開きました。

当日は、100組が歌謡や舞踊、詩吟を披露。訪れた人々は、次々と

披露される演目に楽しげな様子を見せていました。

なお、今回のチャリティーで集まった収益金の5万円余が、同協会から市社会福祉協議会に寄附されました。寄付金は、今後、福祉活動などに活用されます。

日頃の練習の成果を発揮する出演者。



そば打ちを通して交流を深める地域住民。

八ヶ代で大収穫祭 地域住民が「そば打ち」で交流

八ヶ代自治会では、11月22日(日)、八ヶ代コミュニティセンターで、「八ヶ代大収穫祭」を開き、地域住民約200人が交流を深めました。

地域住民同士の交流を深めようと毎年開かれている同祭も今年で13回目となります。今年も地元で収穫された「そば粉」を使った「そば打ち」が行われ、子どもから大人

まで会話を楽しみながらそば打ちに取り組みました。

そして、昼食になると、さつそく出来上がった「そば」を全員で試食。大勢で協力して作ったそばは格別だったようで、「うまい」という声があちらこちらから飛び交っていました。

烏山高校2年の小菅優太さん 道に迷った小学生を保護

烏山高校2年の小菅優太さん(野上)が、道に迷った小学生の子児童を保護したとして、11月

20日(金)、那須烏山警察署の宇賀持久男署長より感謝状が贈られました。

小菅さんは、「警察署に着くまでは、児童と学校の給食や

報徳会「炊き出し体験の集い」

二宮金次郎の功績しのぶ

12月5日(土)、那須烏山報徳会(大金正会長)では、天性寺参道脇の円応公園で、今年で9回目と



なる「炊き出し体験の集い」を開きました。

これは、天保7年(1836年)に本市周辺で飢饉が起こった際に、二宮金次郎が窮民救済などに尽力したことを追想し、毎年行われているものです。

この飢饉では、当時、多くの領民が飢えに苦しんでいました。そこで、烏山藩は二宮金次郎から米を借り、同寺参道脇に小屋を建て、同年12月1日から翌年5月6日までの約150日間にわたって1日平均750人にお粥を提供することで、領民たちを救済したと言われ

ています。

当日は、同会の会員や茂木報徳会の会員、地域住民など約70人が参加。報徳訓を唱和した後、お粥や豚汁の炊き出しが行われ、参加者たちは舌つづみを打つとともに、二宮金次郎の功績をしのびました。



小学生を保護した小菅さん。

11月12日(木)午後5時頃、下校中に野上の国道294号の歩道を一人で歩いていた小学1年生の男子児童を発見した小菅さん。近付くと、児童が「道が分からなくなつた」と話したため保護し、同署へと連れて行つたといいま

勉強の話などをしながら歩いた。こういったことは初めてだったので少し戸惑ったが、無事に解決してほつとした」と笑顔で話していました。

市内で珍しいものを次々と発見

重さ10kg!?

巨大なダイコン見つかる

上境の小原澤節子さんの畑で巨大なダイコンが収穫されました。

9月上旬に種をまいたところ、太さ直径20cm、重さはなんと約10kgにまで成長。一般的にスーパーなどで販売されるダイコンは約1kg程度なので、10倍もの重さです。小原澤さんは「こんな大きく育つたのは初めて。とても驚いた」と笑顔で話していました。



満開に花をつけた皇帝ダリア。

皇帝ダリアが満開に咲き誇る

小河原の矢野輝夫さん宅の皇帝ダリアが11月中旬頃に満開となりました。

このダリアは、温暖な気候で育つ植物で、この辺の地域で11月に花が咲くのは珍しいようです。矢野さん宅のダリアは、5月に植えてから約半年間で5mほどに…。成長ぶりに矢野さんは、「また来年も楽しみ」と話していました。

猿久保田んぼ公園保全交流会 収穫の喜び分かち合う

荒川沿いの自然環境の保全に取り組む荒川南部地域保全会(阿久津忠一会長)では、12月19日(土)、小埴公民館で、「猿久保田んぼ公園保全交流会(収穫祭)」を開き、地域住民40人が収穫の喜びを分かち合いました。

この交流会は、猿久保田んぼ公園内の田んぼで収穫した「もち米」を地域住民で味わい、交流を深めようと10年以上続けている行事です。

交流会では、子どもたちを交えて臼と杵でついた出来たての「もち」や地元の野菜をふんだんに使った「豚汁」などが振る舞われ、子どもから大人まで手作りの料理に舌つづみを打ちました。



ダイコンを手にする小原澤さん。

おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所
 川原木 尋也 (健太・秋穂) 興野
 栗野 遥 (博明・理亭) 興野
 立石 ひまり (祐輔・彩乃) 滝田
 河俣 紬 (祐一・由美子) 大岡
 見目 空妃羅 (一樹・瑞紀) 福岡
 池田 湊心 (隆史・重暎) 三箇

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第10回那須烏山市民親善交通安全ラウンド・ゴルフ大会(10月22日(木)、大桶運動公園)
 【男子】▽第1位:栗田晃志(滝田本郷)
 ▼第2位:永山王一(金二) ▼第3位:岩崎松樹(初音)
 【女子】▽第1位:松崎チエ子(初音)



おにいちゃんと。



ちっちゃなお坊さんたち。

▽第2位:高德里子(中央二)
 ●第31回四倉町少年空手道演武大会(11月8日(日)、いわき市四倉町クリナップ井上記念体育館)
 【中学生女子形】▽優勝:田崎裕乃(南那須空手道スポーツ少年団)
 【中学生女子組手】▽第3位:田崎裕乃(南那須空手道スポーツ少年団)
 ●秋季市民男女混合バレーボール大会(11月11日(木)~12日(木)南那須中学校)
 ▼優勝:ポラリス ▼準優勝:ヨネックス ▼第3位:則くんズ
 ●第31回栃木県スポーツ少年団柔道交流大会(11月15日(日)、栃木県武道館)
 【小学生個人戦重量級】▽準優勝:小池愛友(南那須柔道スポーツ少年団) ▼第3位:鈴木寿幸(南那須柔道スポーツ少年団)
 ●第34回関東・甲信越国際剛柔公道会空手道選手権大会(11月15日(日)、宇都宮市体育館)
 【小学1年男子組手】▽優勝:五十嵐大夢(白雲会空手道スポーツ少年団)

【小学1~2年女子組手】▽第3位:大輪莉央奈(白雲会空手道スポーツ少年団)
 【小学5~6年男子組手】▽敢闘賞:石川由翔(白雲会空手道スポーツ少年団)
 【中学生男子組手】▽優勝:片岡利光(南那須空手道スポーツ少年団) ▼第3位:矢代力音(南那須空手道スポーツ少年団)
 【一般女子形(中学生以上)】▽第3位:田崎裕乃(南那須空手道スポーツ少年団)
 ●第4回関東地区少年空手道選手権大会(11月22日(日)、アリーナたぬま)
 【小学1年男子組手】▽優勝:五十嵐大夢(白雲会空手道スポーツ少年団)
 【小学1・2年女子組手】▽第3位:大輪莉央奈(白雲会空手道スポーツ少年団)
 【中学生女子形】▽準優勝:田崎裕乃(南那須空手道スポーツ少年団)
 【中学2・3年男子組手】▽敢闘賞:片岡利光(南那須空手道スポーツ少年団)

児童・生徒のコンクール結果

●平成27年度よい歯のコンクール表彰式
 【よい歯のコンクール:親と子の部】▽優良賞:伊藤真由美・穂純(田野倉※14ページに掲載記事あり)。
 【図画・ポスター・コンクール:小学生の部】▽入選:内田多麻美(荒川小3年)
 【標語・コンクール:小学生の部】▽神長柚(七合小6年)

関東・東北豪雨災害義援金の報告

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨による大雨の災害により被災された方を支援するために、市役所内4ヶ所に募金箱を設置したところ、1万5680円の義援金が集まりました。

この義援金については、社会福祉法人栃木県共同募金会へ送金しました。ご協力ありがとうございました。

■総務課 ☎0287-83-1111

■おわびと訂正

12月号21ページ「第4回神長そばまつり」の記事で「神長そばまつり実行委員会(齋藤照雄会長)」とあるのは、「神長そばまつり実行委員会(大森金一実行委員長)」の誤りです。おわびし訂正します。

新中1クラスは3月12日(土)スタート。

平山塾

☎83-1915
 塾長 平山政市

中1・2クラス生徒募集中

- ①教科書に沿って英数を学習
- ②学年末・実力テスト前の

5教科準備学習

ご寄付ありがとうございます

■ふるさと応援寄付金

- ・羽鳥広宣様(東京都中央区)から30万円が本市に寄付されました。
- ・石川浩之様(東京都大田区)から5万円が本市に寄付されました。
- ・匿名希望者様より1万3024円が本市に寄付されました。

■図書の寄贈

- ・IT Support パソコン太郎(株)(大房剛樹代表取締役)より、絵本「ぼそこんたろうとうそつきアンテナでんこちゃん」56冊が寄贈されました。

■社会福祉事業寄付金

- ・那須烏山商工会工業部会(佐藤正明部会長)と烏山燦陶会(瀧田項一会長)から4万7351円が社会福祉事業寄付金として本市に寄付されました。



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

- 『自分を責めずにはられない人』片田 珠美 村中 李衣
 『家系のしらべ方』丸山 浩一 『おとなりどうしソラくんレミくん』
 『愛国ってなんだ』古谷 経衡 石津 ちひろ
 『アボカドがあればごちそうレシピ』 軽部 武宏
 緑川 鮎香 『ぞうでするする』
 『おりもり森のネコロック』 あさの あつこ
- CD●
- 『THE BEST』 AI
 『Japonism』 嵐
 『0と1の間 No. Singles』 AKB48
 『大銀幕』 中島 みゆき
 『八代亜紀』 八代 亜紀
 『究極ベスト』 大川 栄策
 『ALL SINGLES BEST』
 清水 翔太
 『ニュー・キッズソング』石原 慎一 他
- 『おとなの始末』落合 恵子
 『うつくしい列島』池澤 夏樹
 『天下人の茶』伊東 潤
 『この冬の私はあの蜜柑だ』片岡 義男
- 児童図書●
- 『どこがあぶないのかな?』渡邊 正樹
 『算数の考える力をつけよう!』 宮本 哲也
 『古生物の飼い方』土屋 健
 『きみもなれる!家事の達人1』 阿部 絢子
 『おさんぽ』 やなせ たかし

市の人口

2015.12.1現在
 ()対前月比

人口 26,868(-48)

男 13,261 女 13,607

出生 10 死亡 34

転入 31 転出 55

世帯数 9,609

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

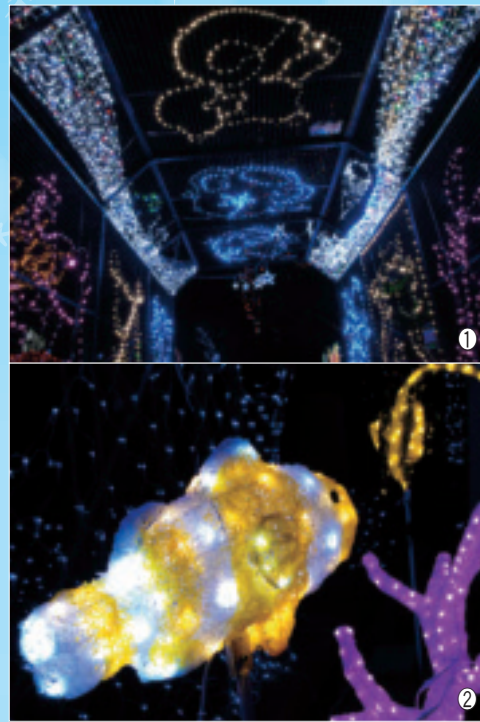
○新年明けましておめでとうございます!年の一番初めに見た夢が正夢になるというのを聞いたことがあります、みなさんは何か見ました?
 ○初夢で「一富士二鷹三茄子」を見ると縁起が良いとも言いますね。見たことあるという人に出会ったことがないですが…。そもそも、どんなシチュエーションなのだろう…(笑)
 ○ちなみに、富士は「高い目標や理想をあらわし、立見出世の象徴」。鷹は「可能性の広がりや自由な行動力をあらわし、開運や夢の実現につながる」。茄子は「事を「成す」に通じ、蓄財や子孫繁栄をあらわす」の意味があるようですよ!ちょっと納得!
 ○まあ…、夢を見た人も見なかった人も昨年1年間運が良かった人も悪かった人も2016年素敵な年になりますように!あまり効き目はなさそうですが、私が願っています!(笑)
 ※保障はありません。

秋晴や一筆書の飛行機雲 水野 信一(月次)	紫の皇帝ダリヤや仰ぎ見る 吉田喜枝子(興野)	天高しパンと叩いて干すパンツ 川俣登志子(旭)	自爆する若者のあり冬来る 杉原 君代(志鳥)	俳句 齋藤 穂選	長生きの講座空席見当らず 伊藤 修子(興野)	流鏑馬の枝に見とれているテレビ 須田 孝子(城東)	年寄りが今日もしている野良仕事 青木 カツ(中山)	川柳 篠崎 酔月選 領いて決めたあなたと五十年 小川 昌子(向田)
--------------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------------	----------	---------------------------	------------------------------	------------------------------	---

作品募集 毎月10日までに、総合政策課広報統計担当 〒321-1069 那須烏山市中央一丁目 番1号あて、郵送で作品をご応募ください。	○話はずめり夢の生活と 水上キヨ子(志鳥)	○施設にての三時のおやつに同世代の 平野フミ子(向田)	○八十路を頑張る秋の夜長を 鈴木 豊(谷浅見)	○庭先に棚つくり餌を与うるも強いも 鈴木 豊(谷浅見)	○の勝ち鳥の世界も 鈴木 豊(谷浅見)	○無きじまのひとりの世界 吉澤 紅月(南)	短歌 福澤 悦子選 補聴器をはずして歌集ひもとけば音	文芸
--	--------------------------	--------------------------------	----------------------------	--------------------------------	------------------------	--------------------------	-------------------------------	----

2015イルミネーションin那須烏山

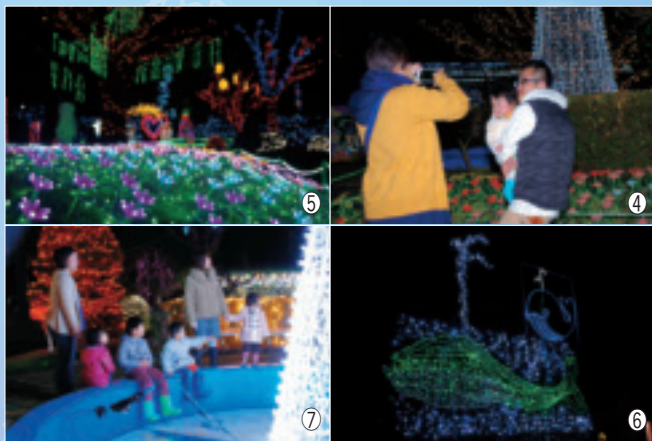
冬の夜空を彩る



【写真】①星座のトンネル ②暗闇を泳ぐ魚 ③公園の中心に立ち光のタワー ④記念撮影する来場者も ⑤一面に広がる花畑 ⑥巨大クジラもお出迎え ⑦期間中大勢の人でにぎわいました。

観光協会や市民ボランティアで構成する実行委員会による「2015イルミネーションin那須烏山」が、12月11日(金)から25日(金)までの15日間、市役所南那須庁舎隣公園を会場に開かれ、多くの来場者でにぎわいました。15回目となった今年は、「花畑」や大金クジラ発見地にちなんだ「クジラ」のイルミネーションが新たに設置され、約20万個の光で冬の夜空を彩りました。初日の11日には、同会場で点灯式が行われ、室井成一実行委員長や佐藤那行観光協会長、大谷範雄市長など5人がカウントダウンに合わせ点灯のスイッチを押しました。一斉に輝いたイルミネーションに、この日待ちわびていた来場者からは大きな歓声があがりました。

また、25日には、クリスマスイベントが行われ、ここなす姫たちから先着300人の子どもたちにプレゼントが手渡されました。



国見で見ることができる云海。

絶景！ 国見の山に雲海広がる

今年も国見の山に雲海が広がっています。国見の雲海は、標高266mほどの国見峠の頂上付近から那珂川沿いに見られるもので、市道沿いに車を止めて見る事ができます。条件が揃えば日光連山や那須連山まで一面の雲海となり、川の流れに合わせて雲の波が見る間にどんどん形を変えて、それぞれの尾根を乗り越えていきます。

条件と運が良ければ、見る事が出来ますので、ぜひ皆さんも足を運んでみてください。

有料広告

ナスカラ市場

おかげさまで多数の注文を頂いている
「烏山山あげ牛」ご家庭用できました!!
ナスカラ市場で店頭販売中!



烏山山あげ牛
リブロースステーキ 3,500円(税別)



烏山山あげ牛
焼肉用カット 3,500円(税別)

大金駅前観光交流施設「ナスカラ市場」 栃木県那須烏山市大金155-4 ☎0120-83-1147